

【全学共通教育センター・人間科学教育科目】令和8年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：令和7年度実施の人間科学教育カリキュラムのさらなる検討

(2) 目 的：令和8年度も引き続き、7年度から実施された人間科学教育カリキュラムの検討作業を継続し、文理融合教育・分野横断教育を基盤としたカリキュラムの整備を推進していく。

すなわち、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムリテラシーレベルの再認定にかかる申請手続きの準備を行なうとともに、オンデマンド授業の導入に伴い、履修者数の上限設定の変更等の検討を課題とするとともに、時代の要請に応えることに努めていく。

(3) 期待する効果：各学部の支援を基盤とする、人間科学教育カリキュラムの重要性を全学的な共通認識として周知徹底するとともに、昨年度同様、学習成果実感調査の回答率向上によって、学生自身の達成度評価をもとにした、学修者本意の教育実現に寄与することが期待される。

2. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

(2) その他研修会等：

※(1)以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

・実施日時・場所：2月～3月に京都産業大学において（対面またはオンライン実施）

・実施内容：新年度に向けて以下の授業の担当国会議を実施予定である

① 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムリテラシーレベル担当国会議（授業運営，意見交換，自己点検評価等）

② 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム応用基礎レベル担当国会議（授業運営，意見交換，自己点検評価等）

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。